

第 24 期第 4 回運営委員会報告

日時：2007 年 9 月 28 日（金） 18:30～22:20

場所：名古屋大学農学部管理棟 1 階会議室

出席者（敬称略）（16 名/ 定足数 11 人）：歌田久司 津田敏隆

阿部琢美 石井 守 石川尚人 白井英之 小川康雄 河野英昭
北 和之 齊藤昭則 高橋幸弘 田口 真 長妻 努 野澤悟徳
山本 衛 清水久芳

欠席者：木戸ゆかり 吉川一郎

1. 前回（第 24 期第 3 回）運営委員会議事録の承認（石井）

- ・承認された

2. 協賛・共催関連（清水）

- ・以下 2 件の後援が承認された。

共催：名古屋大学太陽地球環境研究所

第 1 2 2 回地球電磁気・地球惑星圏学会

開催日：2007 年 9 月 28 日 - 10 月 1 日

開催場所：名古屋大学

協賛：海洋調査技術学会・第 19 回研究成果発表会

開催日：2007 年 11 月 15 日 - 16 日

開催場所：海上保安庁海洋情報部

3. 入退会審査（小川）

- ・4 件の正会員入会申請と 3 件の退会申請があり、承認した。

- ・入会者（4 名）

- 正会員（一般）1 名：前澤裕之（所属：名古屋大学太陽地球環境研究所、
紹介者：野澤悟徳・水野亮）

- 正会員（学生）2 名：坂口歌織（名古屋大学理学研究科、小川忠彦・塩川和
夫） 徳永直樹（岡山理科大学総合情報学部、横山由紀子・鳥居雅之）

- 正会員（海外）1 名：白井洋一（山崎俊嗣・中村教博）

- ・退会者（3 名）：山根一修・川野圭子・宗像義教

4. 会計関連報告（山本）

- ・平成 18 年度決算資料の確認を行った。また、EPS 誌関連会計を特別会計で扱うことについて、資料をもとに説明がされた。

- ・平成 20 年度の本会計予算案が提示され、各収入・支出科目の予算案について説明・確認がされた。本年度と異なる点は(1) 名簿作成費の計上(2 年に 1 度)(2) 広報教育活動費の増額(学会 HP 内容更新、アウトリーチ web 構築)(3) 男女共同参画経費の増額(ポスドクアンケート報告書印刷)(4) 60 周年記念事業費の計上(寄稿文印刷、平成 20 年度のみ)

- ・前回運営委員会で承認された方式に従い、9 月に未納者へ督促をした。秋学会受付で納入に関する問い合わせがあり、効果がみられる。

- ・2005 年度からの会費未納者のリストが提示された。引き続き、運営委員が納入を促す。

5. 国際学術交流事業関連(石井)

- ・2 件の申請について審査したが、両者共に不採択となった。また、前回書類不備のため、今回の運営委員会にて再審査をする予定であった申請については、申請者の都合により取り下げられた。

- ・国際学術交流事業への応募規定改定案について、前回の運営委員会での決定事項の再確認を行った。また、審査方法についての議論を行い、申請の科学的内容のレビューや、科研費の有無の取り扱いについての評価法を明確化することとした。

6. 学生発表賞(阿部)

- ・第 122 回講演会における学生発表賞の準備状況について報告された。
- ・学生賞の評価方法について、重視する点についての議論がなされた。今後、賞の目的と照らし合わせながら、議論を継続する。

7. 秋学会準備状況(高橋)

- ・平成 20 年の秋学会は、仙台市戦災復興記念館にて開催する予定。期間は 10 月 9 日(木)から 12 日(日)。

- ・アウトリーチイベントを仙台市天文台と共催する計画があることが紹介された。

8. 学会連合関係(高橋・石井)

- ・連合の将来構想委員会における議論について紹介された。当学会からの同委員会委員は浜野洋三評議員、本蔵義守評議員、中村正人評議員、石井守運営委員。連合の法人化についての法的議論を始め、将来的な連合の枠組み等についての議論の様子が報告された。

9. アウトリーチ関連（長妻・北）

- ・秋学会時のアウトリーチイベントの準備状況について報告された。
- ・9月27日に秋学会時の記者発表が名古屋市広報室を通して行われ、関連記事が中日新聞に掲載された。
- ・来年度秋学会時のアウトリーチイベント関連予算の確保のため、科研費に応募する予定であり、応募書類の準備に入ったことが報告された。
- ・アウトリーチ web ページ改善の進捗状況が報告された。また、web ページのアクセス頻度を高めるために、他の web ページとリンク等でタイアップするべきであるという意見が出された。

10. EPS 関連（斎藤）

- ・学振による実地検査が10月10日につくばにて行われることが報告された。
- ・科研申請の説明会が10月4日に行われる予定であり、入札の扱いについて確認の後、申請するかどうかを決定する予定。

11. 男女共同参画関連（長妻）

- ・8月16日 - 18日に開催された「女子高生夏の学校」への本学会の協力状況について報告された。本学会からは、長妻会員、高橋会員が参加。
- ・10月5日に、学協会のシンポジウムが名古屋にて開催される。ポスドクアンケート調査結果について発表の予定。
- ・ポスドクアンケート調査結果について、本学会中に議論を行う。内容を年内に確定し、年度内に、最終的な報告書を作成する予定。
- ・10月1日より、学協会の幹事学会が地球惑星科学連合となることが報告された。
- ・学会中に保育室が開設されていることが報告された。来年度についても開設を計画している。

12. 学校教育WG（北）

- ・高校教科書執筆者を対象とした小冊子作成の進捗状況について報告された。予定されていた査読はほぼ終了した。予定よりも量が増えたこともあり、出版の形態について、現在議論中である。

13. 会報発行予定（北・河野）

- ・次号会報は、1月下旬発行予定。原稿締切は1月10日頃を予定。内容は、秋学会報告、規約変更、故杉浦会員追悼文等。

14. 学会創立60周年記念事業（石井）

- ・会長経験者へ原稿を依頼した。行武元会長はじめ、数人から原稿をいただいた。順次、会報に掲載し、電子的にも公開を行う。記事をまとめたものを冊子として印刷することが予定されており、このための予算を計上した。
- ・会報バックナンバーの電子化を行った。今後 web にて公開予定。また、学会大会期間中に、会報をまとめたCDを配布した。
- ・学会創立60周年記念セッションの準備状況が報告された。

15. 集中審議フォローアップ

15-1 学会員数増加のための方策（清水）

- ・学生会員数増加のための案が報告された。今後、議論を継続する。

15-2 委任状関係（臼井）

- ・電子委任状導入についての意見集めの準備中であることが報告された。電子メールをもちいた委任状提出方式の、次回春学会での導入を目指している。

15-3 若手会対応（長妻）

- ・若手会関係者に、若手会の立場（独立した存在 or 学会下の組織）についての、本学会からのコメントを伝えた。若手会で話し合いが持たれる予定であるが、若手会の希望を尊重する。

16. その他（石井）

16-1 名誉会員推挙

- ・推挙候補者が紹介された。また、推挙手順についての確認をおこなった。

16-2 長谷川・永田賞推薦委員

- ・小川・河野・田口委員が推薦委員となった。

16-3 シニア会員制度（野澤）

- ・65歳未満の会員が、定年時に退会を希望するケースがいくつかみられた。学会活動継続を容易にするために、シニア申請資格を緩和することが提案された。申請資格を「原則65歳以上」とすることにより、運用の幅を広げ、65歳未満でも、10年以上本学会に所属した、定年・退職した会員であれば、シニア会員として承認する。自己申告性とする。
- ・シニア会員制度自体が浸透していない可能性がある。宣伝活動も必要。

16-4 分科会について

- ・活動実体のない分科会の解散についての規定がない。分科会については年に1度報告が義務付けられているが、数年にわたって報告がない場合の対応について、次回以降、議論を行う。

17. 次回運営委員会

- ・東京大学地震研究所にて2月下旬に開催予定。